

ふるさと六ツ美を詠む 第20回ふるさと賞

短歌の部 (敬称略)

最優秀作品

あかとき短歌会(石原比朗志)

一般の部

岡崎市議会議員賞

汗の妻草の匂いの残る手で
やっく豆腐にきざみねぎかけ

近藤 幸男(岡崎市法性寺町)

《評》夏の畑仕事の途中での昼食の準備。「妻」の姿から、手、豆腐、ねぎかけとスムーズアップしてゆきます。「汗の妻」「草の匂い」の残る手「きざみねぎかけ」の活用が的確です。

岡崎市観光協会賞

悠紀の田を囲み輪になり歩を合わす
十五で踊り今また踊る

黒野美由紀(岡崎市巾島町)

《評》踊り「踊る」の繰り返しが、想い出がよみがえってくる様子に重なってゆく。「お田植え祭り」で踊ったことが、心に残っていることが伝わってきます。リズムのとても良い歌です。

小中学校の部

岡崎市賞

空を見てぼうっと自転車漕いでたら
突進してくるシオカラトシボ

堀内 祐那(六ツ美中2年)

《評》急に目の前に現れたシオカラトシボに驚いたこと、ぼうっとしてぼんやりと「トシボ」に言われそう。その直後の場面を想像するとなんだかおかしな感じがします。

岡崎市議会議員賞

秋風を背中で受けてラレニレング
ダイブしたいな福ぼのじゆうたん

杉山 弘樹(六ツ美北部小6年)

《評》気持ちよく秋風を受けて田んぼ道を走っていたんですね。福の豊かに笑った様子を眺めて、ダイブしたいと思った気持ちに共感します。飛び込んだら、きもちが持たないでしよう。

岡崎市教育委員会賞

つかまえたどじょう一匹水そうに
はりつきながむ七さいの夏

安達 貴一(六ツ美南部小5年)

《評》「どじょう」は田んぼの水路で、自分の手でつかまえたもの。水そうに「はりつきながむ」の表情が、気持よくながむと、七さいの夏の六ツ美の自然のなかで、魚や虫やでびびりながら生きています。

岡崎市観光協会賞

ばあちゃんの子供会開催夕すずみ
すいか片手に今日を語らう

高橋 あこ(六ツ美中3年)

《評》夏の夕方の縁側でしょうか。ばあちゃんの子供会に集まったのは近所の方々でしょう。家の畑でとれたスイカを味わいながらのおしゃべり。わたしも仲間入り。

岡崎市六ツ美商工会賞

ランキング戦開始の合図あいさつを
負けん気という「お願いします」

相地 真夢(六ツ美北中2年)

《評》部活動で競い合う仲間との試合。気合を込めた「お願いします」の掛け声が、絶対負けなぞという思いが、合図の言葉を結構におくことで表現されています。

中日新聞社賞

母が切るスイカの形笑う顔
それを見ている私も笑顔

小川 詩乃(六ツ美北部小6年)

《評》スイカが家の畑で育てたもので、おいしそう。切られたスイカの形を「笑う顔」ととらえたところがよく、リズムの調べもよい。私も母もスイカも笑顔になっている。

ミスネットフーズ賞

半葉し離れ離れになるけれど
あの日に帰れる「ちりからばやし」

築藤 七海(六ツ美中3年)

《評》中3(卒業生)になり、「ちりからばやし」の行事・活動が終わる。ふと卒業を思ってしまう感じがする。お田植え祭りで、共に踊り聞いた、あの音響が心に残っているんですね。

東海新聞社賞

どろだらけ放置された白靴は
遊びまわった夏の思い出

竹内 新(六ツ美北中3年)

《評》夏休みの間に何を遊ばまわったのでしょうか。そのことを思い出させるのが「どろだらけの靴」。具体的な物に想いをあてて気持ちを歌にしているのがいい。

学区社教員会賞

菜の花が咲きほころぶ遊歩道
黄色はみな笑顔に見える

加藤 颯真(六ツ美西部小6年)

《評》春は明るい黄色い花が咲く季節です。遊歩道に咲く菜の花の一本一本に、みんなの笑顔を感じた作意の学校は、明るい笑顔の「なのはな校舎」の学校ですね。

優秀作品

菜の道やペタル軽やか通りゆく
二人の少女見隠れする

岡崎市津波町 兵藤 聖子

移住して親しみ馴れ半世紀
六ツ美を愛し六ツ美に生きる

岡崎市法性寺町 佐野 幹子

台風が振りまわされ八月は
盆の休日も落ち着けず

岡崎市津波町 若林 厚子

空見たら入道雲と目が合って
じりりと暑い戦いはじまる

六ツ美中部小6年 久保田真奈

蒸し暑く風の吹かない夏の夜
息吹きかけて鳴らす風鈴

六ツ美中部小6年 松本 紗弥

夜花火きれいと見ている事が
今日一番の笑顔を見せた

六ツ美北部小5年 大塚 燿

たふさんの田ではかえるなっている
あかみなりくわくわくしていた

六ツ美北部小5年 松岡 聖花

帰り道おうちたんぼきれいだな
その上にいる赤蜻蛉

六ツ美北部小6年 岩瀬 伯政

夏祭り心をつたいたい、打つ
おんどに合わせみんながどろ

六ツ美北部小6年 長井 駿

羽角山ぼくのひなの水飲み場
最明寺から流れる水

六ツ美南部小5年 金宗太郎

みんなをね見守るよせシタレよ
私たちのねおぼあちゃんみたい

六ツ美南部小5年 郡元 千夏

お線香家族みんなてままいる
けむりたつよう茶福寺の夏

六ツ美南部小5年 村山 慶

おみそや小園神社に集まって
甘酒飲んでほっと一息

六ツ美南部小6年 太田 蘭々

羽角山汗かきながら登ったら
雲一つない澄み色の空

六ツ美南部小6年 杉浦 清月

学校で子供見守る百年も
セシタレの本は母親みたい

六ツ美南部小6年 長谷川友里

悠紀の里ばんざい植えるさいてんは
地域のほころ私ほころ

六ツ美南部小6年 山本 芽生

夏休み二十八日大ピンチ
日誌丸つけ十時終了

六ツ美西部小5年 西川 奎

たのしみはセミが鳴く日の夏の朝
家族で出かける連休の時

六ツ美西部小5年 高橋 慶矢

古里の雑草生える庭の中
食べるスイカは古里の味

六ツ美西部小5年 吉田 啓輔

新学期なのはな畑さきほころ
ふるさと六ツ美なのはな校舎

六ツ美西部小6年 佐野 亮太

セミが鳴く風鈴の音で起きる朝
積乱雲が見える夏

六ツ美西部小6年 山田 慧念

なのはななのはな色の小学校
最後の年でさみしい私

六ツ美西部小6年 石原 禾結

暑いねと犬に問いかけ答え待つ
うんそうたねと聞かえてくるのを

六ツ美西部小6年 渡辺 晃佑

ふと気づきそよ風の匂いが見えている
ああ夏だと思いはじめる

六ツ美中1年 齋藤 聖来

友達と夜におきんぼしていたら
田んぼにライトあけは空だ

六ツ美中1年 石川 心結

夏の夕暮から赤く変わるゆり
そのグラデーションに心動く

六ツ美中2年 川島 碧新

ふとみればオレンジ色の夕日かな
部活帰りの最後のたのしみ

六ツ美中2年 畔柳 葵

通学路稲穂とともに吹く風は
私のペタルを軽くなる

六ツ美中3年 加知唯水伽

虫の音とかわるの合唱聞こえたら
六ツ美の夏が始まる合図

六ツ美中3年 淺岡 柚帆

夕焼を染める大きな黒い影
それは小さなすずめの大群

六ツ美北中1年 阿部 修大

夏祭り花火大会友達と
見ながら食べるフランクフルト

六ツ美北中1年 天野 新太

アキアカネ六ツ美の稲穂かきわけて
大空へ翔ぶ羽輝かせ

六ツ美北中1年 伊藤みなも

母親に○○しなよと言われると
なぜか出てくる怒りの言葉

六ツ美北中2年 加藤 拓海

覚えてる？お花見行った友達よ
次は一緒に花火がみたい

六ツ美北中2年 西澤 心那

正月に集う親戚なつかしく
みんな越して祖父母の背は

六ツ美北中2年 増田 結有

かねがなりあつ一周あきりめず
すべてをわけてラストリゾート

六ツ美北中2年 太田 至

心舞うコリコリ前最後の日
セミの音と私の音色

六ツ美北中3年 高杉 玲奈

「手を止めて」のやられたのは軽いもの
受け取ってみるとやみのぬけがら

六ツ美北中3年 山本 優菜

髪なびく夏の風吹く校舎裏
放課後君を静けさと待つ

六ツ美北中3年 杉村 斗彌

主催

一筆啓上・作左の会

地域に愛され、おかげ様で25周年

あなたのお店！あなたの暮らしを元気にする！あれこれ便利なお店



パッケージプラザ 岡崎店

TEL 0564-22-1155
FAX 0564-27-2435
岡崎市伊賀新町35-15
■営業時間/AM9:00~PM6:00

高級料理店の味をご家庭で

ロイヤルパッコ

本社/愛知県岡崎市葵町12番地10 TEL (0564) 24-8776(代)

お問い合わせは 0120-091989

クイックバック